

# IPv6 BOF Report

猪俣@富士通

2001/7/27

# BOFの概況

- 日時
  - 2001年7月26日 15:00~17:00
- 発表項目
  - Address Policy : 荒野氏@NTT com.
  - ルーティング : 向井氏@OMP
- 参加者数
  - 150人くらい

# Address Policy

- 割り振り
  - 1st /29, 2nd /28, 3rd /24(?)
  - おかわり 2nd 25%, 3rd 50%(?)
- 割当
  - Contract単位
  - エンドユーザ:/48
  - sub-ISP:/40
- その他
  - DB登録:基本的に登録(rps-dist)
  - クローズネット用にPIを規定

# Address Policyの議論

- 意見
  - 割り振り済みアドレス(sTLAなど)の返却はなしにしてほしい
  - 動的ネットワークアドレス割当(ダイアルアップなど)も考慮してほしい
  - データセンタ内の割当をどうするか
    - ラック単位？
  - 地域的に分散した場合、割当はどうか
    - 契約単位では難しい？
- まとめ
  - 大枠は同意
  - APNIC(台北:8月末)に提案

# ルーティング

- マルチホーム
  - トンネルはスケールが難しいけど、パンチングホールもいや
  - マルチホーム専用のアドレスブロックを設定
  - マルチホームを許可する規定が必要か？(議定書？)
- Aggregation
  - Policy Controlのための分散経路広告をどこまでゆるすか
  - ルール作りが必要
- IGP
  - 内部経路数は増加
  - ケースバイケースなので、結局ISP個々でがんばるしかない

# ルーティング

- 意見
  - Criteriaを作るにはアドレス利用量の試算が必要
  - 守れない(守らない)ルールを作っても意味がない
  - ケースバイケースではないか
  - 日本だけで決めても、オーソライズできない
    - 日本でやってみて、例を作りたい
  - 現時点では詳細は決めなくてもよいのではないか？
    - 今のうちにやらないとダメ？
- まとめ
  - ルール作りが必要そう
  - 規定の裏づけが必要(消費量の試算)
  - 強制手段についても課題